

STOP! 介護離職

～介護に備えて～



介護や看護を理由に離職した経験を持つ方から、「仕事を辞めて、頑張って介護していたけど、思うようにいかず、親を怒鳴ってしまい自己嫌悪に陥ってしまった。」「親を看取った後の自分の経済的なことを考えると不安で不眠に悩まされた。」などの話を聞くことがあります。

親の介護も大事ですし、自分自身のために収入を確保することも大切です。仕事と介護の両立においては、悩みや苦しみを独りだけで抱え込まずに周りに頼って相談することです。

介護の相談窓口の一つに地域包括支援センターがあります。

本講座では、介護離職を考える前に、仕事と介護の両立に備えて、正しい知識や情報を、那覇市地域包括支援センター小禄の新本当彦所長に学びます。



日時 **12月19日(土)**
午後 **2時～4時**
対象者：関心のある方
定員：18人(事前申込先着順)

*市在住・在勤・在学の方は手話通訳が利用できます。事前にお問合せください。
なお、一時保育は当面の間、休止いたします。
*新型コロナウイルス感染症などの状況により、変更する場合があります。



にいもと まさひこ

講師：新本 当彦(那覇市地域包括支援センター小禄所長/主任介護支援専門員)

1971年、那覇市生まれ首里育ち。日本福祉大学卒業後、知的障がい者更生施設に勤務。2003年介護支援専門員として居宅介護支援事業所勤務。2013年より那覇市地域包括支援センター小禄にて主任介護支援専門員として従事し現在に至る。社会福祉士、介護支援専門員、主任介護支援専門員。40歳頃に通勤と健康づくりを兼ねて自転車をはじめる。休日はサイクリングに出掛け、景色や風を感じるのが好き。でも一番の目的は食べることで、そば屋、カフェなどへ足を運んでいる。

なは女性センターを利用される皆さまへご協力をお願い



「なは女性センターにおける新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に沿って、ご利用いただきます。

体調のすぐれない方は、ご利用をお控えください。マスク着用、検温、手指消毒のご協力をお願いします。今後の状況により、変更する場合があります。最新の情報は市ホームページでご確認ください。

感染症拡大防止に
ご協力ください



12/28(月)は午後6時閉館です。12/29(火)～1/3(日)は年末年始のため休館いたします。



この基本計画は、誰もが社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動が確保され、もって誰もが均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益などを享受することができ、かつ、共に責任を担うという「男女共同参画社会」の実現をめざし、策定されました。

また、具体的な政策を実施するために、事業に数値目標を設定し、2023(令和5)年には中間見直しを実施します。

★計画関連指標 *「現状」については、平成29年度(一部は平成30年度)調べの数値となります。

基本目標1 (人権が尊重される社会づくり)

番号	評価指標	現状 2017(H29)年度 実績	目標値	
			5年後 2023(R5)年度	10年後 2028(R10)年度
1	「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方に「反対」・「どちらかという反対」する市民の割合	54.4%(H29男女共同参画・市民意識調査)	60%	75%
2	社会全体でみた場合、「男性の方が優遇(どちらかという優遇)されている」と思う市民の割合	68%(H29男女共同参画・市民意識調査)	30%	20%
3	性の多様性に関する取組に「賛成」・「どちらかという賛成」する市民の割合	80.1%(H30那覇市民意識調査)	85%	90%
4	なは女性センター講座の延べ受講者数	24,961人	29,160人	32,160人
5	なは女性センター主催講座への男性の参加率	12%	20%	30%
6	公民館講座への男性の参加率	24.2%	30%	35%
7	消防団員に占める女性の数	12人	15人	18人
8	消防吏員に占める女性の割合	2.6%	3.5%	5%

基本目標2 (多様な性を尊重する社会づくり)



9	「性的指向・性自認」という言葉の市民認知度	27.4%	35%	50%
10	「性の多様性の尊重」に関する職員研修の延べ受講者数	471人	831人	1,131人

基本目標3 (ワークライフバランスの推進) 那覇市女性活躍推進計画



11	ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調査)という言葉の市民認知度	18.3%	30%	50%
12	ポジティブ・アクション(積極的改善措置)に取り組んでいる市内事業者の割合	11.5%	20%	30%
13	那覇市男性職員の育児休業取得率	1.4%	7%	14%
14	那覇市男性職員の出産補助休暇取得率	90.1%	95%	100%
15	保育所等利用待機児童数	200人	0人	0人
16	介護予防リーダー養成講座における男性修了者の割合	33.3%	35%	40%



基本目標4 (あらゆる分野への女性の活躍推進) 那覇市女性活躍推進計画

17	審議会等委員の女性登用率	35.3%	39%	40%
18	審議会等委員について、目標値(男女いずれか一方の委員の割合が40%未満にならないようにする)を達成した委員会の割合を増やす	42.2%	50%	60%
19	女性ゼロの審議会等の解消を図る	8件	0件	0件
20	市職員の女性管理職(課長相当職以上)の割合	13%	17%	20%

基本目標5 (暴力のない社会づくり) 第2次那覇市配偶者等からの暴力の防止及び被害者支援に関する基本計画

21	「DV等の相談窓口を知っている」と回答する市民の割合	43%	50%	60%
----	----------------------------	-----	-----	-----



講座を 終えて

ジェンダースタディーズ VOL.1

なは女性センター講座2020



講座名：虫の目、鳥の目で見える「女性差別」～ジェンダー平等を考える～

開催日：2020年10月31日（土）午後2時～4時

講師：玉城 福子（社学会・大学非常勤講師）

参加者：12人



分かっているようで、つかみ切れていない課題の一つである、「ジェンダーって何だ？」について、様々な角度からお話しくださしました。

▲講師の玉城福子さん

・性別によって、「男性だから、こうあるべきではないか？」とか、「女性のくせに」という偏見や、男女で異なる扱いを受けてしまう「賃金格差や昇進」など、「女だから…」「男だから…」と自分自身を納得させて、諦めたこと等について考えました。

・女性の地位を「経済・教育・政治・健康」の4つで分析し、ランキング化した「ジェンダー・ギャップ指数」のクイズでは、153か国中、日本は121位（2020年）です。それは、経済分野が115位で、政治分野が144位と低いことが要因です。「政策・方針決定過程への女性の参画拡大」の取り組みが必要です。

・「男女格差」は、社会のしくみや市民の無意識のうちに「刷り込まれた」モノの見方やとらえ方の歪みや偏りから生まれてくる社会全体の課題であり、女性だけでは解決できません。

誰もが当事者だという意識を持って「ジェンダー平等」な社会をめざす取り組みが必要だと考える時間となりました。

・講師が紹介してくれた、YouTubeの映像です⇒ [「https://youtu.be/jQbpLVI6DwE」](https://youtu.be/jQbpLVI6DwE) ⇒ ジェンダー平等を求める国連のキャンペーン「He For She」を是非ご覧ください。



2020年度

「那覇市男女共同参画研修参加費補助金」 研修費用の一部を助成します！

あらゆる分野の男女共同参画の推進に不可欠な人材の育成に資する国内外の男女共同参画研修への参加促進を目的に、研修参加者に対し研修参加費用の一部を助成します。

対象研修：①沖縄県女性海外セミナー「女性の翼」事業

②その他市長が必要と認めた男女共同参画研修
*但し、①は2020年度は開催がなかったため、②の研修について募集します。

対象者：那覇市に住民登録がある個人（市税完納者）で、研修参加後に、市の男女共同参画事業へ積極的に参加・協力できる方

補助金額：経費の2分の1以内（上限5万円）

補助回数：原則として同一人に対し年度内1回

募集期間：2020（令和2）年12月15日（火）
～2021（令和3）年1月29日（金）

*ただし、助成額が予算に達し次第は終了します。



詳しくは、那覇市ホームページ、または、なは女性センターまでお問い合わせください。

Book

新着本を
ご紹介します！

★なは女性センターでは、女性問題やジェンダーに関する図書の貸し出し及び資料の閲覧ができます。

☆貸出し期間：2週間 お一人2冊まで

『性の多様性ってなんだろう？』

渡辺大輔 著／平凡社 発行
224ページ／2018年6月20日発行

『私たちの生きる社会は、とても複雑でよくわからないことだらけです。そんな社会を生きるとき必要なのは、「疑問に思うこと」、「知ること」、「考えること」ではないでしょうか。』と、著者は問います。

著者は教育学博士。専門は、セクシュアリティ教育です。



『母ふたりで“かぞく”はじめました』

小野 春 著／講談社 発行
224ページ／2020年3月25日発行

著者自身がLGBT当事者と意識しないうちから相手と出会い、お互いの子ども3人と家族になった20年の軌跡。

著者は「結婚の自由をすべての人に」訴訟（2019）の原告でもあります。



相談室「ダイヤルうない」

周囲に話せる人がいない、自分の気持ちをわかってもらえない。そんな時、「ダイヤルうない」を利用していませんか。生きがい、家庭の問題など、女性の抱える様々な相談に応じ、自分の意思で人生を選択するために情報提供し、サポートします。

- 電話相談
- 面接相談（女性のみ・要予約）
- 法律相談（女性のみ・予約制）

098-861-7515

月～土 午前9時～12時／午後1時～5時

「ストップ・DV」情報提供

相談室「ダイヤルうない」では、ドメスティック・バイオレンス（DV）で悩む方を支援するための情報提供を行っています。詳しくは相談室「ダイヤルうない」へお問い合わせください。



性の多様性に関する相談

あなたが「自分らしい生き方」を自らの意思で選択できるように、一緒に考えます。どなたでもご相談ください。

那覇市パートナーシップ登録

「那覇市パートナーシップ登録」は、戸籍上の性別が同じである2人の申請に基づき、市長が両者をパートナーシップ関係にあると認めた場合、その関係について登録簿へ登録し、証明書を交付するものです。

■「性の多様性を尊重する都市・なは」宣言（レインボーなは宣言）の理念に基づく取組です。登録によって何らかの法律上の効果（婚姻、相続、税金の控除など）が生じるものではありません。

■お問い合わせ・申請の予約■

098-951-3203

◆月～金：午前9時～午後5時

* 祝日、慰霊の日（6/23）、年末年始を除く

登録数 **30組**

2020年12月15日現在

レインボー交流会を開催しています!!

「交流の場がほしい」「当事者と知り合いたい」「性の多様性について語りたい」といった声から生まれた、誰でも参加できる交流会です。みんなが安心して語り合える場所作りを目指します。

開催日：2021年1月23日（土）午後2時～4時

主催：ていーだあみ

問合せ先：tiidaami.okinawa@gmail.com



※最新情報は、下記のフェイスブックでもお知らせします。

→ <https://www.facebook.com/rainbow.okinawa/>

with you おきなわ

沖縄県性暴力被害者ワンストップ支援センター

はやくワンストップ
#8891
24時間365日

性暴力の被害にあわれた方の意思を尊重しながら、医療的支援を含めた必要な支援を行っています。24時間365日体制で相談を受け付けていますので、いつでも相談できます。

◆なは女性センター講座について

*受講希望の講座は、なは女性センター窓口、電話、FAX、Eメールでお申し込みください。また手話通訳、一時保育（現在休止中）の利用は、那覇市在住・在勤・在学の方が対象です。（事前予約が必要）

お問い合わせ

那覇市銘苅2-3-1（なは市民協働プラザAコア1F）
TEL. 098-951-3203 FAX. 098-951-3204
Email: s-heidan002@city.naha.lg.jp

開館時間 月～金：午前9時～午後9時 休館日 年末年始（12/29～1/3）
土曜日：午前9時～午後5時 日曜日・祝日・慰霊の日（6/23）

駐車場のご利用について

「なは市民協働プラザ」の地下駐車場と消防局隣の「ナハメカルパーキング」は有料です。センター利用者は、料金の一部が免除されますので「駐車券」を事務室にお持ちください。

☆なは女性センター利用者の一部免除料金

最初の2時間まで	100円
最初の2時間を超え1時間までごとに	100円

※利用時間に1時間に満たない端数があるときは、その端数を1時間として計算する。



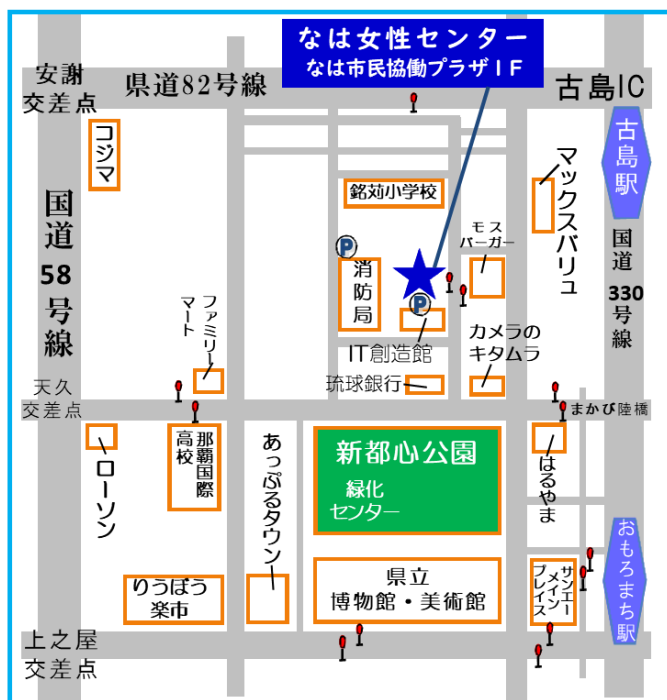
メール



ホームページ



Facebook



- ゆいレール「古島駅」から徒歩7分・「おもろまち駅」から徒歩20分
- 路線バス ★なは市民協働プラザ前バス停 IO 牧志新都心線
★銘苅一丁目バス停 8首里城下町線 徒歩3分
【国道330号側】★興南高校前バス停 ★真嘉比バス停 徒歩7分
【県道82号側】★古島バス停 徒歩7分

